



たきざか

No. 612
平成30年11月30日
調布市立滝坂小学校
校長 鈴木 祐介



展覧会を終えて

副校長 内藤 みゆき

11月16日、17日に開催した展覧会には、延べ、優に1000人を超える御来賓・保護者・地域の方々にご来場いただきました。

「伸び伸びと豊かな心が映し出された素晴らしい作品に、とても感動しました。」「子供たちの想像力の豊かさには本当に驚かされます。」「細かい所までこだわって作られており、感心しました。」等々、温かい言葉をたくさん寄せていただきました。心より感謝申し上げます。

作品作りは個人差が大きく表れます。黙々と作業を進め、授業時間内に完成させる子もいれば、描いては消しを繰り返し、構図一つ決めるにも長考する児童もいます。「どの子にも自分で納得のいく作品作りをさせてあげたい。完成の喜びを味わわせたい。」と、子供たちの想いを受け止め（投げ出しそうになる子には、根気強く個別の支援をしつつ）、朝や放課後に自主学習の機会を設けて、指導に励んだ教員達。各ご家庭でも、きっと温かい励ましの言葉をかけてくださったことと思います。当初は、居残り作業を嫌がって下校してしまう子もいましたが、教員達の粘り強い働きかけとご家庭での励ましで、徐々に作品が形になってくると、自らデザインを付け加えて工夫したり、もっと作らせて欲しいと頼み込んだりする子も見られました。アメリカの教育者ウィリアム・ウォードの言葉に「平凡な教師は言って聞かせる。良い教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。しかし最高の教師は子供の心に火をつける」とあります。とはいえ、苦手意識のある子の心に、そう

易々と火はつきません。細やかに説明し、やってみせ、漸く火がつく、そんな長い道のりを経ての展覧会でした。「我が子の新たな一面を見られたようで新鮮でした。」「自分の作品のポイントを目をキラキラさせて説明してくれる子供の姿に成長を感じました。」(アンケートより)。また一步、成長を遂げた子供達に拍手です！

今年度は、初めての試みとして、6年生児童による「ギャラリートーク」（17日の午前中のみ）を実施しました。6年生の子供たちは、作品作りだけに留まらない、大忙しの日々でした。休み時間や放課後には、作品の仕上げと並行して、担当となった学年の先生や下級生を訪ねて取材をし、原稿を準備しなくてはならなかったからです。児童鑑賞日には、実際に担当するコーナーで再度じっくりと作品に向き合い、自分なりの言葉を紡ぎ出していました。「6年生の解説は、他学年の作品の事をよく理解した上でのもので、とても素晴らしかったです。」「『ご説明しましょうか？』と一步を出すのは少々勇気が必要と思いますが、しっかり話してくれました。『ちなみにおすすめは？』と聞くと、にこやかに説明してくれました。」(アンケートより)。展覧会でも対話的な学びを実践し、頼もしい姿を見せてくれた6年生。その姿に惜しみない賛辞を送ってくださる保護者・地域の皆様方。子供たちの成長を温かく見守ってくださる方々に支えられている幸せを、改めて感じた2日間でした。今後も子供達の成長のため、皆で支え合う学校作りに努めて参ります。

1・2年 初めての展覧会

○展示作品○

1年

かお・かお・かお
ゆうしょう おめでとう

2年

海の生きものたち
ビー玉コロコロ

【1年】

わたしは、かみはんがが じょうずにできなくて、
なんかいか なおすのをがんばりました。なぜか
という はんがをやったことがなかったからです。
こんどは がんばりたいです。

わたしは、はんがで じぶんのかおをかがみで見た
ときに、おもったより口がちいさくて、びっくりし
ました。トロフィーは、アルファベットをたくさん
つくるのをがんばりました。

わたしは、トロフィーをつくりました。はじめのど
だいづくりでは、一ばん上をつけるときにぜんぜん
あんでいしなかったけど、ねんどをはったら、あんで
いしたのでうれしかったです。

わたしは、かみはんがで かみのけを がんばりまし
た。一本一本 つくって かさねていくことを くふ
うしました。くちを 大きく ひらきたかったから、
くちを大きくつくるようにしました。

はじめて かみはんがを したから 大きさが むずか
しかったです。のりを しっかり つけることが だ
いじだと わかりました。トロフィーに、なるべく
りったいきなものをつくって はりつけました。

かみはんがで、さいしょ おとこの子みたいになっ
たから、かみのけを ながくしたら おんなの子に
なりました。じぶんが つくったものを みんなに
見られるのは はじめてだから、ドキドキしまし
た。

【2年】

体いくかんに入ると、びじゅつかんのようにいろん
な人の作ひんがあり、きれいでした。「海の生きもの
たち」の魚では、カッターで切るのがむずかしかった
けど、こつをつかむことができました。カラフルなし
ぼと目、もようがとくにお気に入りの作ひんです。

たくさんの人々の作ひんで、いつもよりすてきな体
いくかんでびっくりしました。「海の生きものたち」
では、小さな魚たちをたくさんかくことで、かわい
い作ひんになりました。つくることも見ることも楽
しかったので、つぎのてんらん会もとても楽しみで
す。
おく田 あいり

ぼくは、「ビー玉コロコロ」で、大きい木をくっ
つけるのが大へんだったけどがんばりました。3年生
の作ひんで、おんせんや人なども細かく作って
いて、工夫があつてよかったです。わかくささんの、
「ゆめみるあかり」がカラフルできれいでした。

わたしは、「海の生きものたち」で、カッターをつか
って切るところがむずかしかったけどがんばりました。
3年生の作ひんは、お花とかがすごいリアルですて
きでした。5年生では、本ものの石でまわりをか
こんだり、ポンドのかたまりを水にしていたりす
る子がいて、おもしろかったです。

わたしが体いくかんに入ったしゅん間、びっくり
しました。とてもしずかで、いつもの体いくかん
とはちがっていたからです。6年生の家てい科の
エプロンのししゅうは、1はり1はりとてもい
ねいで、気持ちをこめて作ったんだなと思
いました。

友だちの作ひんや、ほかの学年の作ひんを、細
かいところまで作ってすごいなあとか、これ
をぬるの大へんだったろうなとか思いなが
ら見ました。ぼくの作ひんも、こうやっ
てだれかが見てくれるのかなと楽しみ
になったし、少しくんちょうもしました。

6年 最後の展覧会

☆展示作品☆

- ・野菜を見つめて
- ・夕やけの絵
- ・自然の木を生かして
- ・エプロン
- ・クッション

・エプロンの刺しゅうでは、好きなものを最大限に表現できました。何年も大事に扱っていきたいです。一生の思い出になりました。

・3年生にインタビューをすると、作品についてとても楽しそうに笑顔で話してくれました。メンバーと一緒にたくさん悩んで、ギャラリートークの原稿を書きました。それもまた一つの思い出となりました。

・「野菜を見つめて」は水彩画なので、色をあわくグラデーションにしたり、ぼかして色をぬったりしました。水彩画の透明感を出せたのがよかったです。

・「自然の木を生かして」では、角度や切り方も工夫してのこぎりで木を切りました。木を釘でうちつける作業も一人では難しく、友達と二人で支えるなど協力もできました。

・ギャラリートークは、始めは緊張して動きもぎこちなかったけれど、慣れてくるとお客様との『対話』が楽しいと感じられました。笑顔で「ありがとう」と言ってくれて、やったかいがあったなと思いました。

・クッションの布は、玉ねぎで染めるとはっきりしたオレンジ色で、化学染料にも負けないと思いました。何重にもしぼるとまるで光のよう。綿も上手に詰められてかなり満足している作品です。

・「野菜を見つめて」では、水をたっぷり使い、ぼんやりとした水彩画にすることができました。キャベツの一つの線ごとに色を変え、ステンドグラス風にしました。

・「自然の木を生かして」では、木を見れば見るほど特徴が伝わってきて、それを生かすためにいろいろな案を考えました。ブランコを空中に浮かせるか、橋にのせるのかなど一つ一つ悩みました。

・エプロンの刺しゅうでは、雪の結晶が細かく、がんばっても少ししか進まないで、あきらめそうになりました。朝や放課後に家庭科室に行き、一生懸命進め、完成したときは、達成感がこみ上げてきました。

・自分たちで育てた藍の葉を使って、オリジナルの柄のクッションを作りました。紅茶の草木染めでは、たこ糸をきつく巻くことができたので、よい柄が出ました。

・ギャラリートークでは、「上手だね。」と言われ、うれしくなりました。やっていくうちに「～君のお母さんだ。～君の作品を紹介しよう。」と、その場で考えてアドリブを入れて説明できるようになりました。

・ギャラリートークでは、平面作品、立体作品見ている人両方に声をかけ、50人以上に説明ができました。声のかけ方を工夫し、積極的に声をかけることが大切だと思いました。





調布市立小学校連合音楽会



音楽専科 豊田奈々

毎年、調布市の小学校20校が調布市グリーンホールに集まり、連合音楽会が行われます。

どの学校も、時間をかけて一生懸命練習してきた合唱と合奏を発表し合い、音楽のことはもちろん、真剣に取り組むことの格好良さや表現の仕方など、様々なことを学び合い、学校のリーダーとしてさらに活躍できる力を身に付けて各校に戻っていきます。滝坂小学校の5年生も、本校の代表として連合音楽会に参加します。今、最後の練習に励んでいます。ご家庭での練習、ご協力にも感謝いたします。

音楽は、そのあふれる個性をひとつに集めることで、素晴らしいものになっていきます。音楽の世界に気持ちを集中させ、音や声をそろえた時の美しさに感動する経験が、一人一人の学びとなり成長につながっていくものと考えています。5年生全員の集中力が最後の課題です。

合唱は「いろんな事があってもそれがすべて自分の糧になっていく」というような内容の歌です。歌詞の内容を自分なりに感じ、それを伝えるために発音や表情に気をつけること、響きのある声をさらに美しく表現できるように、心と声をついに合わせることなど、最高の表現になるように練習しています。

合奏は、迫力のある格好良い曲を選びました。どのパートもそれぞれ難しさがある曲ですが、一人一人が自信をもって演奏できるよう、拍やリズム、主旋律を意識することなど、楽器ごとにも繰り返し練習を行いました。全員の音がピタッとそろうように何回もやり直し、ひとつにそろった時の楽しさを味わえるよう、頑張っています。

真剣に音楽を表現する姿に、どうぞ大きな声援をお願いします。



※連合音楽会の演奏が、調布FMで放送されます。

1月19日(土) 第3部: 15:00~16:00

日時 12月6日(木) 10:00 開演

場所 調布市グリーンホール大ホール

合唱 「かならず かならず」

合奏 「スター・ウォーズ」

※事前申し込み済みの5年生保護者のみ

入場可能となっております。



12月の行事予定

月	火	水	木	金	土
12月1日~25日 いのちと心の教育月間			3時間授業のため、シャトルランに参加する1年生児童以外は全学年、11:30頃下校となります。		1日 学校公開日 道徳授業地区公開講座(2、3校時) 保護者会(全) シャトルラン(1)
3日 全校朝会 委員会活動	4日 連音発表集会(5) FC東京出前授業 (1・2) デンマークINN調布訪問(3-2)	5日	6日 連合音楽会(5)	7日 社会科見学(4)	8日 つくってあそぼう 昔遊び(PTA)
10日 全校朝会 クラブ活動 オリパラ教育・ジョージアについて知ろう(全)	11日 わかくさ学級発表(集会) 安全指導日 FC東京出前授業(3・4) デンマークINN調布訪問(3-1)	12日 教員研修のため 3年2組以外 4時間授業	13日 ダンボの会 読み聞かせ(3) リサイクル回収	14日 合同学習発表会(わ) しめ縄作り(5)	15日
17日 全校朝会 クラブ活動	18日 全校遊び FC東京出前授業(5・6)	19日	20日 アウトリーチ コンサート(全)	21日 給食終	22日
24日 天皇誕生日振替休日	25日 終業式・大掃除 ごみ0運動	26日 冬季休業日始 ※1月8日始業式 (~1月7日迄) 9日給食始			29日 ユーフォー閉室・ 学校閉庁日(3日まで)

※避難訓練は11月より月に1度予告なしで行っています。



※調布FM放送「ラジオレター 調布の教育」にて、本校の展覧会を取材した様子が放送されます。 放送日時: 12月2日(日) 14:40頃